

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 28.9.14 第 191 回国会第 2 号（閉会中審査）

9 月 14 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、石原内閣府副大臣、若宮防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・中山泰秀君外 5 名（自民、民進、公明、共産、維新、生活）から提出された「北朝鮮による五度目の核実験に対する抗議決議案」について、提出者武正公一君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決めました。  
（賛成－自民、民進、公明、共産、維新、生活）
- ・岸田外務大臣から発言がありました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中山泰秀君（自民）

- ・北朝鮮から日本全土に 10 分以内に到達する核兵器から我が国国民の生命・財産を守ることができるのか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・政府は、南シナ海、北朝鮮の核開発問題等に関して中国と連携を見せるロシアに対し、どのような外交力を発揮していく方針か。
- ・核兵器不拡散条約（NPT）で核兵器国と定められていないにもかかわらず、実際に核兵器を保有する北朝鮮に対する我が国の外交方針を問う。

### 武正公一君（民進）

- ・北朝鮮のミサイル・核開発の現状について、岸田外務大臣はどのように認識しているか。
- ・北朝鮮による 5 度目の核実験に対し、新たな国連安保理決議の速やかな採択に向けて政府はどのような方針を有しているか。
- ・G7 伊勢志摩サミット及びオバマ米国大統領の広島訪問の成果について、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

### 笠井亮君（共産）

- ・北朝鮮による 5 度目の核実験に対する岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・核兵器・ミサイル開発の放棄を迫るためにも北朝鮮に六

者会合の場に就かせることが急務ではないか。

- ・国連安保理決議に基づく北朝鮮制裁措置を国際社会が厳格に履行していくことが重要であると考えているが、政府の考えを伺いたい。

### 吉田豊史君（維新）

- ・核実験を強行した北朝鮮に対して米韓が軍事的な対応を行う可能性について政府はどのように考えているか。
- ・北朝鮮に対して国際社会及び我が国が今後とるべき対応についての岸田外務大臣の考えを伺いたい。
- ・ストックホルム合意に基づく 2014 年 7 月の対北朝鮮制裁措置の一部解除の妥当性について、岸田外務大臣の認識を伺いたい。

### 玉城デニー君（生活）

- ・米韓と比べて我が国政府との間で対話の機会が少ないと見られる中国に対し、北朝鮮の核開発に関してどのように働きかけを進めていくか。
- ・これまでに採択された国連安保理決議に基づく北朝鮮に対する制裁措置の効果について、政府はどのように判断しているか。
- ・北朝鮮北東部における洪水被害に対する国際援助と今回の核実験に対する制裁との整合性について、政府はどのように考えているか。